

区長所信表明

項目

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1 はじめに | 6 藝大・台東・墨田観光アートプロジェクトについて |
| 2 平成 21 年度決算について | 7 台東区映像アーカイブについて |
| 3 任意予防接種の費用助成について | 8 行政経営推進プランについて |
| 4 保育所等整備計画について | 9 補正予算について |
| 5 福祉のまちづくりの推進について | |

一般質問

9月17日の本会議において、区長・教育長に対し、各会派の代表7名による一般質問が行われました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



台東区議会自由民主党

おお た ま さ ひ さ
太田 雅久

観光施策について

問 21年度に浅草商店連合会を中心に実施された「災害時における外国人観光客の安心向上プロジェクト」について、⑦実施データを区内全域で活用すべきではないか。④この事業を他の地域にも波及させてはどうか。⑤「したまちコンシェルジュ」の活用について伺う。**答** ⑦今回の実施結果を案内表示の整備などに活かしたいと考えています。④今年度の観光マーケティング調査において、本事業を踏まえ、外国人観光客の調査を検討します。⑤外国語サポートダイヤルのボランティアとして登録するなど、区の事業にご協力いただいています。**問** 中国人観光客誘致に向け、中国人スタッフを採用し、中国国内や浅草文化観光センターに常駐させてはどうか。**答** 浅草文化観光センターに、中国語対応のスタッフを配置する方向で進めます。現地スタッフについては、様々な視点から研究していきます。**問** パンダの来園にあたり、⑦都、区及び地元の連携について伺う。④国内外を問わず広くPRすべきではないか。⑤上野の発展のため地元が行う企画について、区も積極的に関わるべきではないか。**答** ⑦歓迎イベントや来園後の誘客について、地元関係団体や東京都と調整を進めています。④国内外への観光プロモーションにおいてPRするとともに、観光ルートに上野動物園のパンダ

を取り込むなど、情報発信に努めます。⑤都と連携して地元の活動を支援していきます。

障害者福祉施策について

問 こどもクラブの障害児保育学年延長のモデル事業について、早急に本格実施すべきと考えるが、どうか。**答** モデル事業の検証結果と需要を踏まえて、本格実施と実施施設拡大に努力します。**問** 障害児対策について、⑦小中学生の放課後の預かりの需要を把握しているか。また、どう対応していくのか。④高校生の需要に対しては、どのような方策があるか。⑤預かりの際の安全対策について伺う。**答** ⑦松が谷福祉会館の幼児療育部門の利用状況等により、対象と見込まれる児童を把握しています。保護者の就労状況や見守りの必要性などを勘案して対応します。④余暇活動等にヘルパーを派遣する移動支援や、施設で一時的に預かる日中一時支援などがあります。⑤利用者同士の事故などを防ぐため、職員による見守りを徹底するなど、安全性の向上に努めます。**問** 発達障害・幼児療育に関する区のビジョンを伺う。**答** 発達障害児の早期発見と適切な療育は大変重要であると認識しており、教育委員会とも連携を図り、積極的に取り組んでいきます。**問** 松が谷福祉会館では、成人通所部門の利用者の大半が福祉プラザ台東清峰会に移行した。空きスペースをどのように活用するのか。**答** 来年3月まで、つばさ放課後クラブが利用する予定です。今後については、就労支援や幼児療育等の事業も視野に入れ、検討しています。



台東区議会区民クラブ

みず し ま みち のり
水島 道徳

特別養護老人ホームの整備と社会福祉事業団について

問 ⑦6月に130床を有する特別養護老人ホーム浅草ほうらいが開設されたが、それでもなお300人を超える待機者がいる。こうした現状や将来の需要を考え、100床以上の大規模な特別養護老人ホームの新設が必要と考えるが、どうか。④特別養護老人ホーム浅草や谷中は、開設後20年以上経過し、老朽化による改修が必要となっている。しかし、入居者が居ながらの工事は不可能であるため、新たな施設を整備して、入居者の受入れ先として活用してはどうか。**答** ⑦これまで、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、台東病院の開設、特別養護老人ホーム浅草ほうらいの誘致など、基盤整備に努めてきました。しかし、高齢者人口の増加による待機者数の増加が予測されるため、大規模区有

地などの適地を確保し、整備することを含め、検討しています。④既存施設の改修は、改修期間中の受入れ施設の確保が課題となっています。新たな施設の整備に合わせ検討していきます。**問** 社会福祉事業団は、経営効率が悪い。人件費の点から、区からの派遣職員を引き上げるとともに、経営効率の良い大規模な施設を新設し、その運営を任せることで経営が安定すると思うが、どうか。**答** 人件費の見直しや利用率の向上を図るなど、経営努力を進めてきました。20年度には経営改革プログラムを策定し、段階的に区からの派遣職員を引き上げるなど、様々な改革を進めているところです。

台東区所有の土地・施設の仕分けについて

問 区が所有する土地や施設のより有効な利活用を図るため、計画や構想を整理する時期にきていると考えるが、どうか。**答** 本区を取り巻く財政状況は厳しさを増しています。財政負担の軽減と平準化を図りつつ、土地や建物の資産について、最適な所有や利活用、維持管理を行うことが重要と考えています。今後、基本方針を策定し、区民の皆様のニーズに対応した資産の利活用に取り組んでいきます。



台東区議会公明党

いけ だ きよ え
池田 清江

上野の山文化ゾーンについて

問 上野の山の来訪者による近隣商店街へのシャワー効果及び経済効果について伺う。**答** 来訪者の約3割の264万人が区内を回遊しており、観光消費総額は約150億円と推計されています。**問** 文化・観光と産業の連携をどのように図っているか。**答** これまでも「アトリエ化支援による体験型観光の推進」や「芸大と地場産業の連携によるモデル事業」などに取り組んできました。今後はさらに、「みやげ品コンテストによる魅力ある商品の発信」や「文化やものづくりを体験する特色ある観光コースづくり」等の施策を実施し、文化・観光と産業の連携を強化していきます。**問** 上野の山から根岸へ向かう動線の整備を図ってはどうか。**答** 動線上の御隠殿坂や文化・観光資源をより多くの方に知っていただけるよう、ホームページへの掲載や新たな観光ルートを設定するなど、情報の発信に努めます。**問** 廃止となった京成電鉄「博物館動物園駅」をイベントや展示空間として活用してはどうか。

答 駅舎の保存・活用については、老朽化による耐震性の問題など多くの課題がありますが、引き続き、京成電鉄と協議していきます。

若者の自立と行政の役割について

問 不登校の未然防止の取組みについて伺う。**答** 各校で、心配な兆候が見られる児童・生徒について、個別計画を作成し、初期対応を大切に具体的な指導を展開しています。長期欠席者については、教育委員会も状況の聞き取りを行うなど、連携して早期対応を図っています。また、不登校の一因と考えられる中一ギャップに対応するため、幼・小・中連携の日の取組みなど、小学校から中学校への円滑な接続を図っています。**問** 若者の引きこもり対策について、庁内の各所管及び外部機関と連携した取組みを行っているか。**答** 学校や教育支援館で実施する事業のほか、保健所や子ども家庭支援センターで相談事業などを実施しています。また、区、区議会、関係諸団体等で組織する台東区青少年問題協議会を設置し、情報交換・連携を図り、青少年の健全育成に取り組んでいます。**問** 若者の就労・自立を支援する取組みについて伺う。**答** 雇用・就労相談及び雇用対策相談を実施しています。また、区ホームページに就労支援情報を掲載するとともに、上野公共職業安定所と連携した就職面接会等を実施しています。